

登録No. S-048  
 登録名 triweekly Trastuzumab療法  
 催吐性リスク 最小度  
 適応疾患 乳癌・胃癌  
 投与スケジュール

	薬剤	投与量	最大投与量	投与日	投与経路	投与時間	備考
Rp.1	トラスツズマブ 生食	※初回 8mg/kg 2回目以降 6mg/kg 250mL		d1	d.i.v.	初回90minで忍容性良好であれば2回目以降30minまで短縮可	注射用水で溶解

1クールの間 3週間  
 その他（副作用・PS規定等）

注意：胃癌に用いる場合は他の抗悪性腫瘍剤と併用すること。多剤併用療法でトラスツズマブ以外の薬剤で副作用が起きた場合はトラスツズマブのみ単独で継続することが望ましい。  
 ※投与予定日より1週間を超えた後に投与する際は、改めて初回投与量の8mg/kgで投与を行う。  
 原則禁忌（慎重投与）：重篤な心障害のある患者  
 infusion reactionがみられた際は投与中止。  
 （再開時期について特に規定はないが臨床症状をよくみて症状が軽度なら継続投与可能。）  
 前投薬は必要なし。  
 infusion reactionは解熱鎮痛剤、抗ヒスタミン剤、重症時はO<sub>2</sub>投与、ステロイド。  
 心機能障害ある際は慎重投与。